

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生涯学習推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	2	
政策	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	岩松昌弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民のニーズに対応した学習情報を提供するため、掲示物等の工夫を継続し、快適で魅力ある施設運営を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	市民求める学習情報や学習方法を提供するため、掲示物等の工夫を継続し、コロナ禍における感染症対策を徹底し、安全で快適な魅力のある施設運営を行う。
②①に基づく取組み結果	適正な施設管理を行うと共に、市民が興味を持って学習情報を収集できるよう手作りによる掲示物や装飾を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民 関係機関職員	意図(対象をどうするのか)	活力のある生涯学習社会の実現
②事務事業の概要	生涯学習施設の供用及び生涯学習情報の提供			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	自己実現の場として、さらには社会参加への機会の場として、学習意欲の多様化が進んでいくものと推測される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	快適に施設利用ができるよう適正な施設管理を行うと共に、市民が興味を持って学習情報を収集できるよう手作りによる掲示物や装飾を行い、学習情報の提供を行った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	生涯学習推進センター利用件数	1,904	1,565	861	件 業務取得
	ii	インターネットアクセス件数	238,814			件 業務取得
	iii	インターネット予約件数	13,470	15,579	17,347	件 業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	32,395	33,330	金額(千円)	内容		31,587
	国支出金(千円)		6,676	使用料及び賃借料		
	県支出金(千円)		7,962	報酬		
	市債その他(千円)		10,340	需用費		
	一般財源(千円)	32,395	33,330	5,904	委託料	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	年々市民の求める学習情報や学習方法は多様化している。学習ニーズに対応した学習情報を提供するため、ニーズの把握や提供方法に工夫が必要。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	多様な学習ニーズに対し、これまで実施している事業や現代的課題を組み合わせ、サービスの向上を図る必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由						
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生涯学習推進センター改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	2	○
政策	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	岩松昌弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	生涯学習推進センターの電気設備及び給水設備の改修工事を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	利用者が安全かつ快適に利用できるよう、点検・週修繕等の管理を継続的に行う。
②①に基づく取組み結果	生涯学習推進センターの電気設備及び給水設備の改修工事を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	生涯学習活動を行う市民	意図(対象をどうするのか)	改修の実施により環境を安全かつ快
②事務事業の概要	生涯学習推進センターの電気設備及び給水設備の改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化に伴い、今後も改修工事は必要であると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	生涯学習推進センターの電気設備及び給水設備の改修工事を行った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	工事件数	0	0	1件	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	0	14,179	金額(千円)	内容		0
国支出金(千円)			1,837	委託料		
県支出金(千円)			12,342	工事請負費		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	0	14,179				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴い、修繕箇所の増加が予想される。大規模改修には位置付けられていない多額の費用のかかる修繕について、取り扱いの検討が必要。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴う計画的な改修は必要不可欠であるが、電気設備及び給水設備の改修については終了したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	生涯学習推進センターの電気設備及び給水設備の改修	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	予定どおり実施	27,080	26,404	当初	27,080	14,179	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		現年分	14,179
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-676			
				令和3年度への繰越額(単位:千円)		0		

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	
政策	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	岩松昌弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	多様化する市民の学習ニーズに対応した魅力ある事業を実施できるよう関係機関との連携を深める。併せて、学習成果の還元方法について、地域を盛り上げるよう創意工夫につとめる。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	コロナ禍であっても多様化する市民の学習ニーズに対応した魅力ある事業を実施できるよう関係機関との連携を深める。併せて、学習成果の還元方法について、地域を盛り上げるよう創意工夫に努める。
②①に基づく取組み結果	各学習センターでは、関係機関と連携し市民との協働による事業運営の促進につとめた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民	意図(対象をどうするのか)	活力ある生涯学習社会の実現
②事務事業の概要	コスト削減のため、人員体制や事業の改善を行いつつ、地域の学習拠点としての有効性を高める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	学習サークルへの参加や、多様化する市民の学習ニーズに対応することにより、コロナ禍であっても学習センターを生涯学習の場として利用する市民が増えるものと推測される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	各学習センターでは、魅力ある事業運営を実施するため、関係機関との連携や市民との協働を促進し、専門の講師を招いた講座や研修会を企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した事業が多くあった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	延べ主催講座参加者数	19,175	16,883	714	人	業務取得
	ii	延べ施設利用者数	290,891	241,887	110,805	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	89,576	87,330	金額(千円)	内容		106,110	
国支出金(千円)			87,330	市内5館の管理運営に要する経費			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	89,576	87,330				106,110	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民の求める学習情報や学習方法は多様化している。こうしたニーズに応える講座の提供が求められる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	地域の生涯学習の拠点として、市民ニーズに敏感に対応できる講座内容の立案を行う必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	R1からの繰越	
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
政策	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	一般	10	4	3	○
施策	いきいきとした生涯学習の推進	担当課室	生涯学習推進課			
		担当課室長	岩松昌弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改修工事設計委託を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改修工事を行う。
②①に基づく取組み結果	東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改修工事設計委託を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民	意図(対象をどうするのか)	改修の実施により施設の環境悪化を防ぎ、環境の快適化により施設の利用促進に資する。
②事務事業の概要	市内の学習センターのうち、東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改修工事に伴う設計委託を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内各学習センターが老朽化しているため、今後も改修工事は必要であると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改修工事設計委託を完了した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	工事件数	0	0	0	件 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳		令和3年度予算	
事業費(千円)	0	8,858	金額(千円)	内容	90,682	
国支出金(千円)			8,858	委託料	2,836	
県支出金(千円)						
市債その他(千円)					78,300	
一般財源(千円)	0	8,858			9,546	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴い、修繕箇所の増加が予想される。大規模改修には位置付けられていない多額の費用のかかる修繕について、取り扱いの検討が必要。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴う計画的な改修は必要不可欠であり、市民の生涯学習の場を安定的に提供するため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改修工事設計委託を行う。	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	改修工事設計委託のみ完了	22,456	22,456	当初	0	8,858	R1からの繰越	0
③達成状況	未完了			R1⇒R2繰越	0		現年分	8,858
④未完了・非着手の理由	改修工事は令和3年度に繰り越して実施するため	令和3年度への繰越額(単位:千円)		12,650				

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館蔵書・資料整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	岩松 昌弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	学校の各種事業(修学旅行、林間学校等)に対応した資料の収集を行うとともに、図書学校配達事業を活用し、学校が必要とする資料収集に反映させる。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	コロナ禍において図書館利用者が求めている資料ニーズを把握し、様々な分野の資料を収集する。
②①に基づく取組み結果	学校の各種事業を踏まえた資料の収集を行った。また、図書学校配達事業から、学校が必要とする資料を把握し、資料の確保を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館利用者	意図(対象をどうするのか)	利用者の多様なニーズに応えるため図書館資料の質的向上を図る。
②事務事業の概要	多様化・高度化する学習欲求に対応するため、図書館資料・蔵書の充実を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	昭和49年10月に条例を設置し業務を開始、その後昭和52年に市役所旧庁舎へ移転し、昭和62年に現在地に図書館本館を建設した。また、利用者がより身近に利用できるよう五つの分館を整備した。今後も、本館・分館の資料の充実を図る。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	一般図書5,633冊、児童図書2,295冊、視聴覚資料131点を購入し、令和2年度の蔵書数は、305,967冊となった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i 蔵書数		303,624	305,473	305,967	冊	業務取得
	ii 図書購入数		7,849	8,132	7,928	冊	業務取得
	iii 図書貸出数		386,476	352,577	277,091	冊	業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	15,499	15,500	金額(千円)		内容	15,500	
	国支出金(千円)		10,196		一般図書購入 5,633冊		
	県支出金(千円)		4,209		児童図書購入 2,295冊		
	市債その他(千円)		1,095		視聴覚資料購入 131点		
	一般財源(千円)	15,499	15,500			15,500	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	様々な分野において図書、視聴覚資料の充実が求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者の多様化するニーズに対応するため、各種分野に及ぶ図書、視聴覚資料の収集について精査・検証が必要であるため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	図書資料の購入	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	資料収集基準に基づき図書・視聴覚資料を選定、購入	15,500	15,500	当初	15,500	15,500	R1からの繰越
				R1⇒R2繰越			現年分
③達成状況	完了						
④未完了・非着手の理由							
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				0	

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	岩松 昌弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	適正に施設の管理運営を行い、次年度以降の改修の考え方について取りまとめを行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	コロナ対応の設備改修工事として、トイレ手洗い場の自動水洗化等の工事を行う。
②①に基づく取組み結果	総合基本計画、第1次実施計画策定に伴い今後の建物、設備の修繕の考え方を取りまとめた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館利用者	意図(対象をどうするのか)	適正な施設管理運営により、快適な施設利用環境を提供する。
②事務事業の概要	図書館の利用利便性の向上や、長寿命化を目的として建物、設備等の改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	昭和62年4月開館以来35年が経過しており、今後老朽化した建物の外壁やトイレ等の改修工事が必要になる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	なし						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	工事件数	1	2	0	件	業務取得
	ii	必要箇所	1	2	0	箇所	業務取得
	iii	延べ利用人数	117,509	105,501	75,745	人	業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	20,272	1,485	金額(千円)	内容		9,900	
国支出金(千円)		332	1,485	設計委託		2,224	
県支出金(千円)							
市債その他(千円)		900				7,600	
一般財源(千円)	20,272	253				76	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	建物、設備の経年劣化に伴う改修が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	適正に管理運営を実施し、利用者に快適な施設利用環境を提供するため、精査・検証が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	トイレ自動水洗等改修工事 設計委託及び、工事	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	設計委託	11,430	11,430	当初	0	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		
③達成状況	未完了	11,430	11,430	補正	11,430	現年分	1,485
④未完了・非着手の理由	業者手配の関係で、工期内の完了が見込めないため			流用・充当	0		
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				9,900	